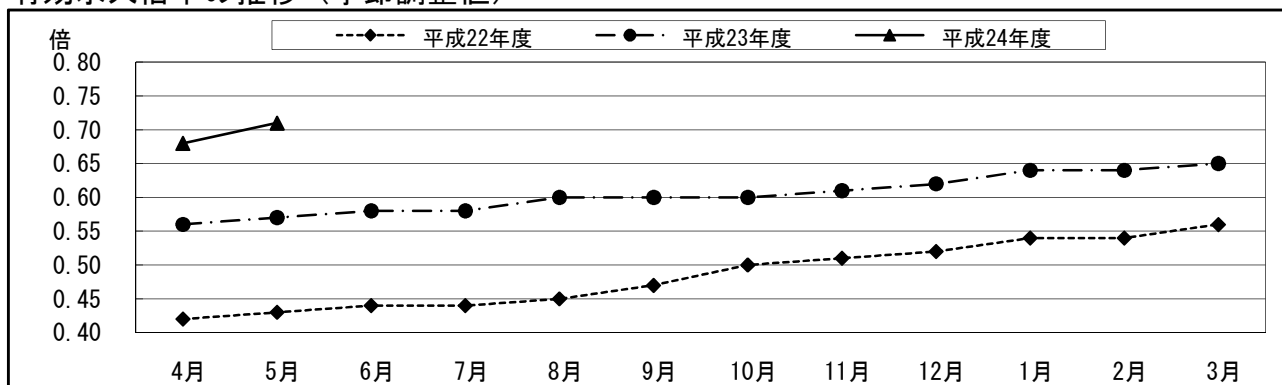


## 有効求人倍率の推移（季節調整値）



## 職業紹介主要指標

項目		24年 5月	24年 4月	前月比 (差)	23年 5月	前年同月比 (差)		
全数 (パートを含む)	1. 新規求職申込件数	7,483	9,180	▲ 18.5	7,894	▲ 5.2		
	2. 月間有効求職者数	29,637	29,577	0.2	30,497	▲ 2.8		
	3. 新規求人数	6,979	7,391	▲ 5.6	5,445	▲ 28.2		
	4. 月間有効求人数	18,575	19,007	▲ 2.3	15,128	▲ 22.8		
	5. 紹介件数	13,531	13,199	2.5	12,016	▲ 12.6		
	6. 就職件数	3,133	3,101	1.0	2,658	▲ 17.9		
	7. 充足数	2,981	2,988	▲ 0.2	2,547	▲ 17.0		
	比率	8. 有効求人倍率(倍)	季調値	0.71	0.68	0.03	0.57	0.14
			原数値	0.63	0.64	▲ 0.01	0.50	0.13
		9. 就職率 $\frac{6}{1}$ (%)	41.9	33.8	8.1	33.7	▲ 8.2	
10. 充足率 $\frac{7}{3}$ (%)		42.7	40.4	2.3	46.8	▲ 4.1		
中高年 (パートを含む)	11. 新規求職申込件数	2,674	3,796	▲ 29.6	2,833	▲ 5.6		
	12. 月間有効求職者数	12,176	12,227	▲ 0.4	12,711	▲ 4.2		
	13. 紹介件数	4,640	4,699	▲ 1.3	4,008	▲ 15.8		
	14. 就職件数	1,042	1,068	▲ 2.4	866	▲ 20.3		
	15. 就職率 $\frac{14}{11}$ (%)	39.0	28.1	10.9	30.6	▲ 8.4		
雇用保険	16. 適用事業所数	19,893	19,857	0.2	19,622	▲ 1.4		
	17. 被保険者数	274,646	272,424	0.8	270,625	▲ 1.5		
	18. 離職票提出件数	2,476	4,048	▲ 38.8	2,629	▲ 5.8		
	19. 受給資格決定件数	2,309	3,515	▲ 34.3	2,303	▲ 0.3		
	20. 受給者実人員(所定内)	7,440	6,050	23.0	7,226	▲ 3.0		
	21. 総支給金額(千円)	857,716	611,097	40.4	781,431	▲ 9.8		

## 5月の雇用の動き

本県の労働市場は、有効求人倍率(季節調整値)が、前月を0.03ポイント上回り0.71倍で、前年同月差では、0.14ポイント上昇し27か月連続の上昇となった。有効求人倍率(季節調整値)が0.71倍となったのは、平成18年8月(修正値)以来の倍率である。

新規求職者数(原数値)は、前年同月比で9か月連続減少し、有効求職者数(原数値)も、14か月連続で減少している。新規常用求職者を求職時の態様別にみると、事業主都合離職者は前年同月比で16.5%減、在職者同1.6%減、無業者同20.4%減、自己都合離職者は同3.7%増となった。

一方、新規求人数(原数値)は、前年同月比で27か月連続増加し、有効求人数(原数値)も27か月連続増加している。

産業別にみると、前年同月比で医療、福祉が408人(28.7%)増、卸売業、小売業が342人(36.3%)増、建設業が189人(66.8%)増、サービス業(他に分類されないもの)が134人(25.9%)増、製造業が130人(23.9%)増(18産業中14産業で増)等となっており、全体で1,534人(28.2%)の増加となった。

規模別にみると29人以下規模事業所が1,081人(33.4%)増となっており中小規模事業所からの求人意欲が窺える。

職業紹介状況は、前年同月比で紹介件数が12.6%増の13,531件となり、就職件数も17.9%増の3,133件となった。うち、パートの紹介件数は9.8%増の3,689件となり、就職件数は21.7%増の1,031件。

就職率(対新規求職者)は、前年同月比で8.2ポイント上回り41.9%となった。

雇用失業情勢については、今後も緩やかな改善傾向になると推測されるが、円高の長期化、電力不足等の景気下揺れリスクがあり、本県経済の動き、求人・求職の動向を注視する必要がある。